

これからの予定



★紙芝居連続講座 in 日進

日時 2025年1月25日、2月15日、3月1日
場所 日進市 ワンダースクエアドリームズ

募集人数 20人
少人数の開催です。
受講希望の方は、
お早めに問い合わせ
ください。ただし
受付11月1日から
先着順。

紙芝居あいち
10周年企画



★コラム《ま・間・ま》

近藤さんが10年間書かれた
コラムを小冊子にまとめ
ました。挿絵もすてきです。
ご希望の方は、お申し出
ください。

★酒井京子さん（紙芝居文化の会代表・童心社会長）

日時 2024年10月14日（月）
場所 蒲郡市
内容 14ひきシリーズのおはなし
蒲郡市立図書館
第47回図書館文学講座のページ申し込みもこちらから



★紙芝居はうす日程

基本、第2月曜日 10時～16時
Zoomは10月、2月、6月の14時～15時半予定。
※予定変更もあります。お問い合わせください。

コラム 《ま・間・ま》

ひまわり

テレビニュースで、満開のひまわり畑を見せてくれた。まさに真夏の花だ。暑い暑いと言ってる中で、ヒマワリを見ると猶更熱くなりそう。けれど、暑さにめげず堂々と立って太陽に向かってのを見たと頼もしく、元気がもらえる。今は、広い広いひまわり畑を見ると、ウクライナのひまわり畑を思い起こしてしまう。あの美しいひまわり畑はどうなってるのだろうと。人はなぜ美しいものを壊そうとするのだろう？

もう一つ、可憐なひなげしがイギリスでは戦没者の象徴だったとは。ジョン・マクレーの詩を基にした『ヒナゲシの野原で』で、ポーランドで咲き乱れるヒナゲシの下には悲しい戦争の爪痕があることを教えてくれる。そして。沖縄の「ざわわざわわ ざわわ ざわわ・・・」と、森山良子の歌声がきこえてくる。8月は元気な花たちと祈りの季節。

『ヒナゲシの野原で』 マイケル・モーパーゴ作 評論社
『さとうきび畑』 寺島尚彦作詞・作曲



紙芝居文化の会 あいち とは

こんなことやりたい

- ・通信を発行します
- ・紙芝居講座を開催します
- ・情報交換をします

会員になるには

紙芝居文化の会にご入会下さい

詳しくは、紙芝居文化の会
<http://www.kamishibai-ikaja.com/>
または、下記連絡先まで

紙芝居文化の会あいちの会費は不要です
愛知県内だけでなく近隣の方々もご参加下さい

連絡先

〒470-0126 日進市赤池町村東149
紙芝居文化の会あいち代表 近藤洋子
電話 052-801-5794
kon18115@mb.ccnw.ne.jp



紙芝居文化の会 あいち

第27号
2024.9



紙芝居文化の会とは

- ・紙芝居を愛する人
- ・紙芝居に興味のある人
- ・紙芝居を演じたい人

さまざまな思いの人、海外の人とも
出会い、交流する場です。

（2001年創立 事務局東京都三鷹市）

★酒井京子さん

祝刊行 50 周年『おいしいのぼうけん』

5月10日（金）10時～12時

50 周年を祝して、酒井京子童心社会長を紙芝居はうすにお招きしました。

『おいしいのぼうけん』は、黒い表紙にオレンジ色のタイトル文字、ふたりのつないだ手と顔が目を引きま



す。作家古田足日さん、画家田畑精一さんと、若き編集者酒井さんがしっかりスクラムを組んで制作した長編絵本です。

酒井さんは当時の編集秘話をにこやかに語って

くださいました。本のテーマは、困難を自分の力で乗り越える子どもたちを生き生きと描くこと。保育園で取材を重ね、押入れから出てこない子、汗



疹、ねずみばあさん等のモチーフから物語へ。保育園の押入れの暗闇の中の大冒険です。

臨場感あふれる文章は主人公ふたりだけでなく、見守る先生や仲間の気持ちも描きます。鉛筆画は生き生きとして優しく、クレパス画の虹が美しい。120 ページあった原稿を 80 ページに縮め、さらに絵との調整に最も苦心したそうです。難航の末 1974 年刊行。以来多くの人の心を捉えました。読み聞かせると子どもたちの目が輝くそうです。

お話を伺い、酒井さんの編集者人生の礎を見たような気がしました。『おいしいのぼうけん』50 周年おめでとう！酒井さん、貴重なお話ありがとうございました。



★近藤さんをお祝いする会

子供の読書活動優秀実践（個人）文部科学大臣表彰記念

7月15日（月）18時～20時30分

梅雨空の下、一番どりだと会場に駆けつけると、もう多くの参加者が開店前のお店の前で談笑しておられました。どの顔も早く近藤さんをお祝いしたいとわくわくしたお顔ばかり。スタートから近藤さんがいかに多くの人から慕われているかが一目瞭然。

会場は 72 名の参加者で満席。どの席からも楽しげな声。会が始まり、ボルテージはどんどん高まっていきました。

祝辞は時間の関係で、近藤さんが愛知県読書推進計画策定委員をされていた時の担当者、名古屋市図書館、としょかん再発見、児童図書館研究会、名東図書館おはなうさぎ、紙芝居文化の会あいち、東海子どもの本ネットワークから各 1 名、お言葉を頂きました。どのご祝辞も本当に心がこもったもので、聞きながらその通りと皆さん頷かれていました。

その中で青山さんが紙芝居『よいしょよいしょ』を演じました。皆さんの目が紙芝居に集中されていくのが肌で感じられました。特に、この紙芝居の最終画面に（自由に作画できる画面）、近藤さんの笑顔の写真が登場した時は、会場全体が歓喜と一体感！

その後、近藤さんからのサプライズで今のお気持ちと、近藤さん作詞の歌のプレゼントがあり、素敵な会でした。

近藤さん、ありがとうございます。これからみんなと一緒によろしくお願いします！



☆名東図書館 紙芝居だけのお話会

7月27日（土）大人8名 こども10名

小さい子が多かったので、急遽『ちがうでしょ』をいれました。それぞれの作品を集中して見入る子たちが多かったです。参加者からは、子どもが熱心に見聞き反応する姿が見れて嬉しかった！ とても楽しかった、また来ます、と喜ばれていました。

<プログラム>

『ぱんくがえる』
『しりなりべら』
『ちがうでしょ』
『かりゆしの海』
『ざしきわらし

ほーい ほい！』



☆豊田市平和を願う戦争展

8月24日（土）豊田市産業文化センター

毎年、紙芝居まーるの会はこの催しに参加しています。年々子どもたちの表情が真剣になっていくのを感じています。作品を真摯にとらえてくれるのはうれしい。でも戦争という言葉が身近になっていくのは悲しいと思います。紙芝居を「ああおもしろかった！」と言ってほしい。今回は楽しい作品もいっぱいしました。

<プログラム>

『かりゆしの海』
『世界一おおきな

ケーキ』

『みんなでぽん！』
『三月十日のやくそく』
『ころんこっつんこ』
『よいしょ よいしょ』



各地の紙芝居のグループ、活動を紹介します。情報をお知らせください。